（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	サンすまいる・しののめ

公表日　令和8年3月2日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	テーブル、パーテーション等の備品の配置を変えながら、広い空間を確保しています。	利用人数も多く、障害特性的に動きが多い方もいるため、どうしても活動スペースが狭くなっています。車椅子利用児や、体格も大きくなっているので、物的環境では狭いと思われます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		利用定員の人員基準プラス加配配置を行っていますが、急な欠員の場合は法人内よりヘルプ要請をして対応しています。	現状では工夫しながら動いていますが、この先は増員も必須と思われます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	備品類を移動させ、広さを確保するとともに、次年度にはスロープ拡幅工事を予定しております。	元々就労事業所であった建物であり、車椅子対応にそぐわない箇所もあり改善を要すると思われます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		人数が多い日には不穏な子どももいるので、パーテーションで仕切る等の環境調整を図っています。	工夫はしていますが、子どもの状態によっては手狭に感じられます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者及び利用児童のニーズを聴き取り、より良い支援に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		朝のミーティングや振り返り等の機会に意見を集め、検討、実行し業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	外部評価は行っていませんが、業務改善に向けて話し合い、実践しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		伝達研修が多く勉強する機会が増え、学びになりました。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域を網羅した内容で立案し、取り組みやすい目標を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		週毎にリーダーを輪番させ、静と動の活動でメリハリをつけたカリキュラムを組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節感溢れる題材を提供し、新しい活動を加えながら、マンネリ化しないよう工夫しています。	

援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝のミーティングや非常勤の職員が出勤後に再度ミーティングや振り返りを行い、共有しています。学校休業日は時差出勤なので、ミーティング帳を確認し疑問点はリーダーに聞いています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4	1	非常勤に職員は支援終了後すぐ退勤するので、翌日に振り返りを行っています。学校休業日は時差出勤なので、ミーティング帳と業務日誌を見て共有しています。終了後気づいた事があればミーティング帳に書き、次の日の朝ミーティングや昼ミーティングで共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリング時に分析及び検証を行い、本人の現状に見合っている目標かを精査します。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自立課題では複数から選択出来るように、創作活動や自由時間には好みの物を複数提示して自己選択の場面を設定しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	中高生が主体の事業所であり、学校や併用事業所との情報共有を行っています。児童発達支援事業所と情報共有が出来る状態にあります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	4	1		可能な限り、研修に参加したいのですが、連携を図る機会が少ないのが実情です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		地域の子ども祭りが以前はあったとの事ですが、少子化でなくなりました。地域の子ども食堂への壁面制作を通し、交流の機会を継続しています。自主開催の夏まつりでは、地域の子どもをお誘いしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		法人の代表が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		降所時には事業所での子どもの様子を伝え、保護者からはご家庭の様子を聴き取り、理解を深めるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者学習会では、成長や進路等、ライフステージに生まれるニーズを掘り起こしてテーマにしております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		夏まつりや保護者学習会、であいのコンサートなど、きょうだいを含む家族の参加を呼びかけています。その際には他家族と交流出来るよう、職員が仲立ちをしています。保護者学習会は好評であったように思われます。	保護者学習会ではフリートークの時間が不足していました。来年度は保護者サロンを計画的に開催し、交流や語り合いの場を提供していく予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		十分傾聴し、迅速かつ適切な対応を心がけております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		事業所の月便りやホームページ、玄関前の掲示物にて情報発信に努めております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		絵カードやジェスチャー、コミュニケーションアプリを活用し、意思表出しやすいよう配慮しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		夏まつりでは、地域の支援学校、中学校や商店へポスターを掲示していただき、近隣へはチラシをポスティングして、地域住民をご招待いたしました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを玄関付近に設置し、誰もが自由に閲覧出来るようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的な研修及び訓練、シミュレーションを繰り返し実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬やてんかん発作時の対応を保護者に確認し、変化がないかを定期的に聴き取りをしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者から聴き取り、医師の指示に従っています。食物制限のある食材については、適宜確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		月に一回、利用児童へ向けた安全学習、事業所内安全点検を行い、安全管理に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5		非常災害連絡先や受け渡し方法を定期的に確認し、名簿等の作成を実施しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットについて、事例検討を行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		毎月セルフチェックリストで自身の振り返りを行っています。また伝達研修を計画的に行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		職員間で条件3項目を十分検討し、保護者及び本人へ説明と同意を行ってから実施しています。また記録や計画書への記載も忘れずに行うようにしています。	